

石川県七尾美術館だより

平成28年7月1日発行
編集・発行 (公財)七尾美術財団

第86号 (夏号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

平成28年度夏季特別展

～国芳、広重、国貞、豊国、英泉…江戸・明治の浮世絵師たちが描く～

ニャンダブル！浮世絵ねこの世界展

「たとゑ尽の内」(3枚続の内) 歌川国芳

展覧会紹介

平成28年7月2日(土) ~ 9月25日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

「『豊・広重、国・豊、蒙・江戸・明治の浮世絵師たちが描く』
ニャンダフル！浮世絵ねこの世界展」

8月5日(金) ~ 9月25日(日)

◆第1・第2・第3展示室

私たちにとって猫は、今やペットという領域を超え、大切な家族であり癒しの存在です。猫たちは、奈良時代に経典を食い荒らすネズミ退治のために中国から輸入され、「唐猫」と呼んだといいます。平安時代には宮廷貴族のペットとして可愛がられ、次第に「日本猫」として定着し、庶民のペットとして広く飼われるようになりまし。猫は屋内で人間と共に住み、人々の温かい懷に抱かれて生活していました。



「白猫」高橋弘明

やがて浮世絵師たちも、その可愛くも自由気ままな姿に魅せられ、春信、国貞、豊国、英泉など、名だたる絵師が「美人と猫」を描きました。主役はあくまでも美女でした。それを、「猫」を主役として登場させたのが、浮世絵師「国芳」です。国芳は猫好きで、いつも子猫を2〜3匹懷に入れ、猫の生態を観察していたとい。ます。

本展では国芳を中心に、「名所江戸百景」の哀愁に満ちた猫を描いた広重など、江戸・明治に活躍した浮世絵師たちが描いた個性豊かな作品200点を、7つのテーマで一堂に展覧します。

「かわいい！」「こわい！」「おもしろい！」、浮世絵の中で自由気ままに動き回る猫たちをお楽しみください！
みんなの来館を待ってるニャン！

■第一章：猫のプロフィール

「ありのままの猫」

「猫は神様が創造した一番可愛い動物」ともいわれますが(犬派の方、ごめんなさい！)、甘えたかと思えば、つれない態度……。でも、その大きくつぶらな瞳にみつめられると、いつの間にか虜になり癒されてしまうのです。古くからネズミ退治に活躍しながらも、自由に遊ぶ猫たちの姿をご覧ください。



「名所江戸百景 浅草田圃西の町詣」歌川広重

■第二章：お茶目な猫たち

「猫の戯画—国芳作品を中心に—」

人間になりきって、曲芸、歌舞伎、踊りと何でもござれ！国芳の手にかければ、人間顔負けの猫世界が展開、猫たちは表情豊かに大パフォーマンスを繰り広げています。さすが国芳です。

■第三章：国芳と猫と美人たち

「浮世絵師・国芳が描く自画像、猫、美人」

国芳は目立ちたがり屋だったのか、自分も作品に登場させましたが、恥ずかしくて顔を隠しているのがお茶目です。一方、国芳美人はさわやかな江戸っ子です。カメラのようなリアリズムで捉えた美人と猫は、生き生きとしています。



「鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘」歌川国芳

■第四章：猫は美人が好き 「美人画の中の猫」

美人と猫はよく似合う。国芳以外にも、多くの浮世絵師が「美人と猫」を描きました。そして、やがて雑誌の口絵などにも登場していき。ました。色んな猫と美人のコラボレーションをお楽しみください。



「思事鏡写絵(猫)」歌川国貞



「流行猫の曲手まり」歌川国芳

■第五章…猫は子どもの友だち

「猫と子どもは仲よし」

浮世絵には、子どもをテーマにした「子ども絵」というジャンルがあります。子どもと遊ぶ猫、子どもにいたずらする猫…無邪気に遊ぶ、子どもと猫の微笑ましい姿は、いつの時代も同じです。



「子供遊八行のうち 仁」(部分) 歌川国芳

■第六章…楽しくユカイな猫の国

「猫のおもちや絵」

子どもたちが切ったり貼ったりして遊ぶ「おもちゃ絵」は、江戸末期から明治の中頃まで大流行しました。猫が人間のように銭湯に入ったり、花見や運動会、軽業や火消しなど、なんと賑やかでバラエティーに富んでいることでしょう！



「新板猫の花見」(部分) 四代歌川国政

■第七章…化け猫ものがたり

「妖怪になった怖い猫」

江戸時代は、人も猫も今よりもずっと短命でした。ですから当時の人々は、猫が10年も生きると、尾が2つに裂けて「猫又」と呼ぶ化け猫になると考えていました。歌舞伎の舞台にも、化け猫物語がいくつも誕生したのです。お怖い！



「五十三駅 岡崎」歌川国芳

関連イベント

①スペシャルギャラリートーク

日時…8月5日(金)

午前10時30分～11時30分

講師…稲垣進一氏(国際浮世絵学会 常任理事)
対象…高校生以上

※10時からの開会式終了後、稲垣氏が絵を楽しく解説しながら3つの展示室を回ります。

②夏のニャンコ物語

日時…8月14日(日) 午後2時～2時45分

講師…ひらけゴマお話し箱

会場…当館アートホール

私たち「猫」が登場する紙芝居や絵本を読んでもくれるニャン。怖い猫も出てくるかな。

③誰だってニャンコ

日時…8月22日(月)、9月22日(木・祝)

2月22日は「猫の日」だニャー。そこで、ニャンニャン(22日)の日に、何か私たち「猫」のものを身に付けてきた方に、作品の絵柄がプリントされたオリジナルのコースターをプレゼントするニャン♪ぜひ参加してね。

※鑑賞の妨げにならない程度でお願いします。



④ニャンコぬりえ

みんな、私たちに色をぬって、ステキなニャンコにしてね♪

※お1人様2枚まで。満席の時は、多少お待ちいただくこともございます。

⑤かお出し撮影コーナー

このコーナーは、誰でも顔出しパネルで記念撮影ができるニャン。楽しい記念写真を撮ってね♪

⑥癒しのねご広場

わが家の猫写真を持ってきて、1F休憩コーナーのボードに貼って自慢するニャン♪
※写真は返却いたしません。
※猫のみの写真で、ハガキサイズ以内。

★①～⑥は全て参加無料。ただし、②以外は高校生以上の方、観覧券が必要です。

★④～⑥は会期中随時開催。

ティールームでセットメニューなどを注文すると、猫のオリジナルコースターがもらえるニャン♪

色んなグッズもあるニャン♪



《観覧料》

	一般	個人	団体
大高生	800円	3500円	7000円
	3500円	3000円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

第75回七尾港まつり協賛

『池田コレクション』百花繚乱！

7月2日(土)～31日(日)

◆第1・第2展示室

※本ページ掲載作品画像は全て「池田コレクション」です。



「織部宝珠香合」



「絵唐津算盤玉形水指」

夏は「池田コレクション」

平成28年もはや半ばを過ぎ、世間はいよいよ夏本番。天気予報によると、どうやら今年は「猛暑」とのこと。暑さを苦手とする方々にはうんざりする話ですね。

さて、当館にとって夏の訪れとともに開催される恒例の展覧会といえば、この「池田コレクション」です。



「納涼美人図」
宮川長春

池田文夫氏と「池田コレクション」

もうご存知の方も多いかと思いますが、「池田コレクション」について再度ご紹介しましょう。

同コレクションは、七尾市出身の実業家・池田文夫氏（1907～87）が生涯をかけて蒐集した美術工芸品が母体となっています。

池田氏は戦後間もない昭和23年に岐阜県大垣市で紡績会社を設立、経済人として広く活躍します。化学繊維紡績業界などの発展に尽力する一方で、拠点の大垣市や出身地の七尾市に対し、多大な援助を行いました。

そして氏にとつての「ライフワーク」といえるのが、美術工芸品を蒐集することでした。その範囲は実に広く、日本美術はもとより東洋・西洋美術までにおよび、古い時代のものから現代まで多岐にわたります。

昭和62年に氏は他界しますが、池田家の皆様のご厚意により、翌年に蒐集作品より125点が七尾市に寄附されました。これをきっかけとして七尾に美術館を建設することとなり、平成7年に開館したのが当館なのです。



「根来湯桶」



「千鳥時絵香合」
松田権六

成長する「池田コレクション」

125点の作品からスタートした「池田コレクション」。当館開館以後、所蔵品の「顔」として中心的存在を担っていきます。そして、池田家の皆さまによる引き続きのご配慮により、開館何周年といった節目ごとに作品の追加寄附が行われて、コレクションはさらに充実していきました。

当初は主に岐阜県美濃地方ゆかりのやきものや、近現代の日本画を中心に構成されていたコレクションですが、点数の増加に伴い最初は存在し

なかった「肉筆浮世絵」や漆工の「根来」といった、新しいジャンルの作品も続々と加わり多様化。近年の寄附では、石川県を代表するやきものである「九谷焼」がまとまって仲間入りしました。

そして現在、コレクションは当初の倍以上の計287点。このように「池田コレクション」は、成長を続けてきたのです。

コレクションのバラエティに富んだラインナップは、池田氏の豊かな感性を代弁するものといえます。その中でも活躍地の岐阜、そして出身地の石川ゆかりの工芸や絵画なども多く、その辺りに特に氏のこだわりを感じます。



「溪橋雨後図」
川合玉堂

今回の「池田コレクション展」は、287点の粒ぞろいの品々より、工芸と絵画を中心とした約60点を紹介します。

池田氏の目指した多彩な作品世界。これらの優れた逸品たちを、ぜひともご堪能ください。



「太平記 大森彦七物語」(部分)



「木彫太公望」
平櫛田中

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	280円	220円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

当館収蔵品貸出情報（7月1日現在）

◆石川県輪島漆芸美術館（輪島市水守町四十荊1）

【☎0768-22-9788】

展覧会名

「漆碗の世界―時代碗と輪島塗碗―」

会 期 9月10日（土）～11月7日（月）

出品作品

「根来蓋付碗」 5客

当館蔵（池田コレクション）

食漆器の基本といえる漆碗。輪島塗においても、主力商品として数多くが制作されました。本展では、輪島塗をはじめとした様々な古今の漆碗をとおして、その変遷や幅広い意匠の数々を紹介いたします。

【作品介绍】

作品名 根来蓋付碗

寸 法 各径14・3センチ、高さ11・0センチ

制作年 室町～桃山時代頃

「根来」の名の由来は、中世に繁栄した紀伊国（和歌山県）の根来寺において制作され、仏具や僧侶の日用品として使用されたことから伝わります。

堅牢な器の重厚感と、経年の摩耗によって生じる朱と黒の漆による、自然発生の文様の侘びた雰囲気は魅力です。

この品は蓋付の漆碗5客セット。器全体に朱漆と黒漆を重ね塗りする二方、高台裏と蓋上部は黒漆塗りのままとしています。なお、高台裏に記された「貴」の文字は識別記号でしょうか。



貸館催し物案内

市民ギャラリー

第21回七尾日創展

7月7日（木）～10日（日）

初日は午後1時から、最終日は午後4時まで

公募により県内外から出品された日本画を中心とする絵画約60点を展示します。若さあふれる作品からベテランの充実した作品まで、個性あふれる作品をお楽しみください。

主 催 日創会

連絡先 三宅厚史

☎0767（77）1368

第75回七尾港まつり協賛事業

第22回七尾美術作家協会展

7月15日（金）～18日（月・祝）

最終日は午後4時まで

会員（日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真）の近作（85点）を一堂に発表、展示しています。等伯生誕の地、七尾で次世代の育成を図りつつ、市民の文化・向上を目指しています。ご来館をお待ちしています。

主 催 七尾美術作家協会

連絡先 事務局 内藤雄鵬

☎0767（52）4755



アートホール

第4回大森結城クラシックバレエ発表会

7月31日（日） 開演 午後2時00分

当スタジオも、4回目の発表会を迎える事ができました。子供から大人まで、この日の為に日々一生懸命練習してきました。皆様方にも楽しいひとときを一緒にすごしていただきたいです。ご来場お待ちしております。

主 催 大森結城クラシックバレエ

連絡先 大森知音 ☎0767（53）0469

佐藤有希子門下生ピアノ発表会

8月7日（日） 開演 午後1時30分

日頃の練習の成果を、ピアノソロ、ピアノ連弾で披露する発表会です。さまざまなジャンルの曲を演奏します。どうぞ、お気軽にご来場ください。

主 催 佐藤有希子門下生

連絡先 佐藤有希子 ☎0767（54）0955

第19回青山バレエ発表会

8月21日（日） 開演 午後1時30分

2年に一度、開催している発表会です。この発表会に向けてみんなで頑張って練習してきました。かわいい子供が一生懸命踊りますので、皆さん是非見に来て下さい。

主 催 青山バレエスタジオ

連絡先 主宰 津田康子

☎0767（53）2208

「長谷川等伯展」等伯と一門の精鋭たち」をふりかえって

当館の主要テーマである長谷川等伯（1539～1610）。当館では平成8年以来「長谷川等伯展」をシリーズで開催し、その作品や人となりを紹介してきました。そして今年も、4月23日～5月29日に春季特別展として実施。期間中は5,000名を超える多くの方々にご来館いただきました。ここに改めて御礼を申し上げます。

さて、展覧会が終了して早くも約2か月が経過しましたが、ここでは本年の等伯展を回顧してみたいと思います。

毎年何かしらの「テーマ」を設定している本展覧会。本年のそれは「晩年の等伯」と「長谷川派」でした。なぜ等伯の晩年期としたのかですが、これは昨年の等伯展テーマが「等伯若年期から60歳頃まで」となっており、60歳以降の作品を紹介できなかったことによるものです。

等伯は72歳で没するまで生涯現役を貫いたといわれ、晩年期も旺盛な制作活動を行っています。従ってその生涯を紹介するうえでは、晩年期も欠かすことができません。そこで今回は、「前回の



開会式風景（4月22日）。七尾市立徳田小学校6年生の皆さんを特別招待しました。

続き」という形でテーマを設定しました。つまり、昨年と今年をあわせると等伯の生涯を網羅できるという具合です。

そしてもうひとつ、今回の大きな特色が「長谷川派」を前面に出したという点。桃山時代当時、ほとんど



会期中の会場風景

の絵師たちが一門を形成し、集団で制作活動を行っています。無論、等伯も「長谷川派」のリーダーでした。

従って、等伯のまわりにも常に多くの絵師たちが存在していたのです。例えば能登では等伯の養祖父との説もある無分や養父宗清、

一族といわれる等譽。そして京都では長男・久蔵、二男・宗宅、三男・宗也、四男・左近といった息子たちと、数多くの弟子たちなどです。

しかし残念ながら、これら「長谷川派」の面々については、一門が没落したこともあり記録が僅かで、その全貌はよくわかっていません。「長谷川派」は未だ「謎の集団」であり、従って一般にはほとんど知られていないのが実情です。

ですが等伯を語るうえで「長谷川派」は絶対に必要であり、等伯のみならず彼らについても皆さんに知って欲しい。そこで、今回は特に「長谷川派」をクローズアップしたのです。

展示では、等伯と「長谷川派」絵師の作品を並べて展示するなどして、その密接な関係がわかるようにしました。会期中、来館者からは「長谷川派」の絵師がこんなにたくさんいたのか、という声も聞かれました。

また4月29日には、等伯や「長谷川派」に大変造詣の深い石川県立歴史博物館の北春千代先生にご講演いただきました。長谷川一門についての詳細なお話しには、参加された方々も熱心に耳を傾けているようでした。

さて、等伯展は来年も実施する予定です。22回目次の回、果たしてどんなテーマで、どのような作品が展示されるのでしょうか。ご期待ください。



ティールームからのお知らせ

展覧会を楽しんだあとは、喫茶室でゆっくりおくつろぎください。

★おすすめ夏メニュー ◎期間7/2～

【冷やし抹茶白玉ぜんざい】 (600円)

京都府産の宇治抹茶を使用。ふっくら柔らかな小豆の風味と舌の上をすべるような白玉の食感がお口の中でやさしく溶け合います。



【冷やしネバとろぶつかけうどん】 (680円)

ネバネバ野菜（オクラ・長芋・なめこ）で夏バテ対策！ツルツルとした、のどごしの良いうどんです。

※どちらも温かくできます。



★「ニヤンダフル！浮世絵ねこの世界展」

限定メニュー

◎期間8/5～9/25

【しらすトーストセット（ドリンク付）】 (700円)

まろやかなマヨネーズと、しらすの塩味が食欲をそそる美味しさです。

※期間中、セットメニューをご注文の方に猫のオリジナルコースタープレゼント！



☆友の会会員の皆様

会計時にレジにて会員証をご提示いただくと10%割引になります。（10円未満切捨）

木版画の醍醐味の一つは版木を彫ったあと、バレンで摺り、ドキドキわくわくしながら和紙をめくる瞬間でしょうか。

今回は、七尾市在住の鈴木敏治氏を講師にお迎えし、ハガキサイズの木版画（1版刷）を制作します。

鈴木氏と木版画との出会いは、氏が就職したばかりの若き頃、板画家・棟方志功の講演を聴講したことでした。いまだ木版画への冷めない情熱と、ふる里・地域を見つめるお話しも伺います。

完成作品は美術館で展示します。（展示予定：10/1～23）

彫刻刀をお持ちでなくても参加できます。



「歌もきこえる 能登さくら駅」鈴木敏治 作

日 時…1日目：9月11日（日）13：30～15：30

2日目：9月25日（日）10：00～15：00

場 所…石川県七尾美術館 楽屋

講 師…鈴木敏治先生（農民版画家）

定 員…15名（定員に達し次第締め切り）

参加費…1,300円（切出刀1本、その他材料費込み）

持ち物…エプロン又は汚れても良い上着、飲み物、昼食（2日目のみ）

募 集…7月10日（日）より電話にて申込受付。

石川県七尾美術館 ☎0767-53-1500

※非会員の方は、この機会にご入会ください。

（年度会費1,000円）

第17回友の会「鑑賞の旅」のご案内 水野美術館と真田家ゆかりの地を訪ねて



横山大観「無我」1897年

水野美術館は、横山大観ら近代日本画の礎を築いた巨匠たちの作品から現代日本作家の作品と、全国でも有数の日本画コレクションを誇る美術館です。四季折々の表情を映す本格的日本庭園を眺めながら、日本の美を再発見します。

また、現在NHK大河ドラマで注目を集める真田家ゆかりの地をめぐり、激動の戦国時代を逞しく生き抜いた真田家の足跡を探訪します。

皆様からのお申し込みをお待ちしております。

◆日 程 10月19日（水）【貸切バス利用】

6：00出発 22：00頃帰着予定

◆見学地 水野美術館、松代城跡、真田神社などを予定（長野県）

◆参加費 12,000円（税込み）※バス代、観覧料、昼・夕食（弁当）代、旅行傷害保険料込み。

◆定 員 25名（対象は原則として成人）

◆募 集 8月5日（金）～10月14日（金）（定員に達し次第締め切り）

参加費をご持参のうえ、当館受付でお申込みください。

※非会員の方は、この機会にご入会ください。（年度会費1,000円）

参加者大募集!!

友の会からのお知らせ

・石川県七尾美術館友の会平成27年度会計報告

収入	年会費	520千円	1,000円×520名様
	講座等参加費	219千円	美術講座（9千円）、鑑賞の旅（210千円）参加費
	財団充当金	60千円	公益財団法人七尾美術財団より充当
	収入計	799千円	
支出	印刷・郵送料等	508千円	美術館だより発行、郵送料等
	講座等活動費	291千円	美術講座（30千円）、鑑賞の旅（261千円）
	支出計	799千円	

・蝦夷穴歴史センターの入館料割引提携は中止となりました。



これからの展覧会予定



平成28年10月1日（土）～23日（日）

◆第2展示室 「能登地区の文化財 ～うけつがれてきた珠玉の名品～」

現在でも能登地方の各地に伝来する古今の美術工芸品。それらの品々は時代ごとの人びとの歴史やいとなみ、そして美意識など多くのことを伝えてくれる貴重な存在です。本展では中世から近世にかけて制作された様々な「能登ゆかりの作品」などを、当館所蔵品・寄託品より紹介。長谷川等伯や「長谷川派」の作品も展示予定です。



◆第1展示室 「色絵磁器の華 九谷焼 ～池田コレクションより～」

左：「色絵牡丹唐獅子図八角鉢 民山窯」当館蔵（池田コレクション） 右：「善女龍王図」長谷川信春（等伯） 当館蔵

平成28年11月3日（木・祝）～12月11日（日）【会期中無休】

◆第1・2・3展示室 「2016 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

イタリアの古都ボローニャで毎年春に児童書専門見本市ボローニャ・ブックフェアが開催されます。絵本原画コンクールも実施され、見本市会場では入選作品が展示されます。今年、イタリアでの開催50周年を迎えたコンクールは新人イラストレーターの登竜門ともなっており、世界中から絵本の新たな可能性を探る様々な作品が集まります。

ボローニャ国際絵本原画展はコンクールの入選作品を紹介する展覧会です。今年は3191組の応募作品から、日本人11人を含む、18ヵ国77作家が選ばれました。5枚1組で構成されるイラストはバラエティ豊かで個性に溢れています。また絵本コーナーを設け、ボローニャ・ラガッツィ賞受賞絵本など国内外の絵本も多数展示します。印刷された絵本からは感じることのできない原画の魅力をお楽しみください。



『コロポックル』川崎名司生（日本）

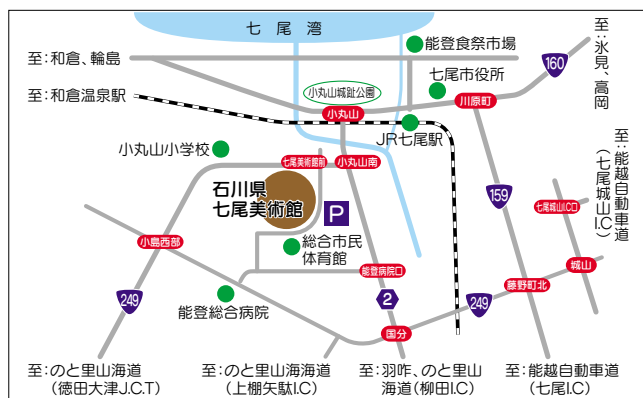


割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。

無線でネット



エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fiスポットサービスの「FREESPOT」をご利用頂けます。



●飛行機…能登空港から「のと里山海道」利用約45分 ●車…「のと里山海道」徳田大津JCTから約15分又は「能登自動車道」七尾城山IC又は七尾ICから約10分 ●タクシー…JR七尾駅から約5分 ●徒歩…JR七尾駅から約20分 ●市内循環バス「まりん号」…JR七尾駅前「ミナ・クル」バス停から「七尾美術館前」下車（順回り約8分・逆回り約14分、1日各8便） ●なおコミュニティバス「ぐるっとア」…JR七尾駅前5番乗り場から「小丸山台1丁目」下車（西コース約10分、1日4便）

◎次号・第87号（秋号）は10月1日発行予定です。

日	月	火	水	木	金	土	2016
					1	2	7
3	4	5	6	7	8	9	JULY
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

日	月	火	水	木	金	土	2016
							8
	1	2	3	4	5	6	AUGUST
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土	2016
							9
					1	2	SEPTEMBER
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30		

◆7月～9月カレンダー◆
開館時間 ◆午前9時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）
※は休館日

〒926-0855 石川県七尾市小丸山台一丁目1番地
TEL(0767)53-1500 / FAX(0767)53-6262
http://nanao-art-museum.jp

石川県七尾美術館だより

第86号（夏号）